

## 1984

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第3回 井塚政義講演資料集 (1984.3.4開催)

#### ー技術文明史から見た東海地方ー

編集：愛知技術教育研究会、発行：愛知技術教育研究会、発行日：1984.3.4、判型：B5判、頁数：42+25

はじめに		愛知技術教育研究会	
1.	中世鉄冶金の遺宝(1)～(6)ー技術と信仰の接点・鉄仏ー (『内燃機関』20巻8号～21巻1号、山海堂より転載)	井塚 政義	1
2.	続・「室町技術革命」の展開ー『比較日本技術革命誌』のための部分的草稿ー (『名古屋栄養短期大学紀要』第1号、1976、名古屋栄養短期大学、P109-125より転載)	同	15
3.	技術と戦略ー国難を救った航海術ー (『内燃機関』vol.19 No.232、1980.1、山海堂より転載)	同	33
4.	続・技術と戦略ー「世紀の大勝」待ち伏せ作戦ー (『内燃機関』vol.20 No.247、1981.3、山海堂より転載)	同	38
一.	民衆始導に始まる技術の湧動 (『庶民の世紀 中世の技術革命』1981.11、朝日ソノラマより転載)	同	5
二.	庶民が育てた鉄 (『和鉄の文化 その系譜・美・技術の魅力』1983.9、八重岳書房より転載)	同	13
三.	民族とその技術性 (『技術文明史論』1972.9、ミネルヴァ書房より転載)	同	21

## 1985

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第4回 講演・報告資料集 (1985.2.3開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1985.2.3、判型：B5判、頁数：31

I. [講演1]	岡崎市滝町、米河内町における水車紡績の盛衰	近藤 長作	1
II. [報告]	三河ガラ紡績の実態調査・中間報告ーガラ紡績機の機構と特長ー	加藤 俊雄・加藤 博雄・人見 昭・天野 武弘・石田 正治	
	ーガラ紡績機の機構と特長・資料図集ー		9
	ーガラ紡績実態調査・参考資料ー		17
III. [講演2]	土木技術遺産としての人造石(たたき)構造物ー愛知県内における服部長七の施工遺跡を中心にー	飯塚 一雄	26

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第4回 報告集 (1985.2.3開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1985.10.27、判型：B5判、頁数：84

開会挨拶		人見 昭	1
講演1	岡崎市滝町、米河内町における水車紡績の盛衰 (講演録)	近藤 長作	5
質疑応答			15
	三河ガラ紡績の実態調査・中間報告ーガラ紡績機の機構と特長ー	加藤 俊雄・加藤 博雄・人見 昭・天野 武弘・石田 正治	17
報告	三河ガラ紡績の実態調査・中間報告ーガラ紡績機の機構と特長ー (講演録)	加藤 俊雄	19
	ーガラ紡績機の機構と特長・資料図集ー		22
	ーガラ紡績実態調査・参考資料ー		30
質疑応答			38
	土木技術遺産としての人造石(たたき)構造物ー愛知県内における服部長七の施工遺跡を中心にー	飯塚 一雄	42
講演2	土木技術遺産としての人造石(たたき)構造物ー愛知県内における服部長七の施工遺跡を中心にー (講演録)	飯塚 一雄	61
質疑応答			67
討論			68

## 1986

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第5回 講演・報告資料集 (1986.2.16開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1986.2.16、判型：B5判、頁数：36

1. [報告]	産業記念物 大同特殊鋼の1.5トン電気炉をめぐって	中住 健二郎	1
2. 講演I	尾張地方の織物の歴史ー近世後期から第二次大戦までー	塩澤 君夫	15
3. 講演II	博物館の建設と資料収集・保存について	岩野 見司	25
付.	ーシンポジウム開催小史ー		34

## 1987

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第6回 講演・報告資料集 (1987.2.15開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1987.2.15、判型：B5判、頁数：33

1. [講演]	科学館のむかし・いま・これからー日本の博物館の建設の動向と視点ー	瀧本 正二	1
2. [報告]	近代水車の技術史的評価ーケーシングの発達を「ものさし」としてー	高橋 伊佐夫	11
3. [報告]	奥三河の水車製材跡の調査ー産業考古学的フィールドワークの方法と視点ー	天野 武弘	21
付	ーシンポジウム開催小史ー		

## 1988

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第5回 報告集 (1986.2.16開催)

# 中部産遺研他「日本の技術史を見る眼」関係 総目次 2025.3.28現在

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会報告集編集委員会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1988.1.24、判型：B5判、頁数：95

開会挨拶		佐々木 享	1
報告	産業記念物・大同特殊鋼の1.5トン電気炉をめぐる（講演録）	中住 健二郎	5
質疑応答			11
講演1	博物館の建設と資料収集・保存について（講演録）	岩野 見司	20
講演2	尾張地方の織物の歴史－近世後期から第二次大戦まで－（講演録）	塩澤 君夫	45
質疑応答・討論			71

## ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第7回 講演・報告資料集 (1988.1.24開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1988.1.24、判型：B5判、頁数：51

1. [講演]	水力機械の発達史	村上 光清	1
2. [報告]	在来型水車の歴史的評価	前田 清志	23
3. [報告]	小里川発電所調査報告	田口 憲一	24
4. [報告]	大阪の代表的な産業水車	出水 力	36
5. [報告]	愛知県内に現存する水車の調査報告	杉浦 雄司	42
付録	－シンポジウム開催小史－		50

## 1989

## ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第8回 講演・報告資料集 (1989.6.25開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1989.6.25、判型：B5判、頁数：41

I. [報告]	ガラ紡績にみる日本独自の技術の展開	石田 正治	1
II. [講演]	技術移転－日米比較－	小林 達也	25
付録	－シンポジウム開催小史－		39

## 1990

## ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第9回 講演・報告資料集 (1990.7.15開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1990.7.15、判型：B5判、頁数：40

I. [講演I]	エントロピー論からみた工業技術史	河宮 信郎	1
II. [講演II]	技術形成の国際比較－日本・メキシコ・韓国の自動車産業－	中岡 哲郎	14
参考資料	日本の近代化と技術革新 国際日本文化センター主催シンポジウム『世界の中の日本』、1989.3. より転載	中岡 哲郎	36
付録	－シンポジウム開催小史－		37

## 1991

## ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第10回 講演報告資料集 (1991.7.6開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1991.7.6、判型：B5判、頁数：21

I. [講演]	戦前戦後の技術比較－主として特許制度の面から見る－	奥村 正二	1
II. [報告]	シンポジウム「日本の技術史をみる眼」－10年の歩み－	石田 正治	14

## 1992

## ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第11回 講演報告資料集 (1992.5.17開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1992.5.17、判型：B5判、頁数：47

[講演]	日本の航空機発達史－飛行機設計50年の回顧－	土井 武夫	1
	シンポジウム開催小史		45

## 1993

## ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第12回 講演報告資料集 (1993.9.12開催)

編集：中部産業遺産研究会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1993.9.12、判型：B5判、頁数：81

I.	愛知をめぐる製鉄技術の先人たち－工学博士野呂景義（1854～1923）につらなる人びと－	飯田 賢一	1
II.	八幡製鉄所に見る厚板工場の変遷	齋藤 恒夫	8
III.	八幡製鉄より移設された厚板圧延設備の大歯車	山本 貴志夫	54
IV.	現存最古のエルー式電気炉炉体	中住 健二郎	69
V.	見学会案内 矢作製鉄（株）・大同特殊鋼（株）知多工場	中住 健二郎	79

## 1994

## ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回 講演報告資料集 (1994.12.10開催)

### －鉄道遺産の現状と保存問題－

編集：中部産業遺産研究会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1994.12.10、判型：B5判、頁数：85

1.	鉄道遺産の現状と保存問題－産業考古学の視点から－	堤 一郎	1
2.	東海道線初代掛妻川橋梁	小栗 彰夫	25
3.	名古屋市電における2軸電車の発達	加藤 久爾夫	38
4.	名鉄資料館開設の目的と経過	恒川 鋭夫	59
5.	大井川鉄道における鉄道遺産保存の経過	白井 昭	73

1995

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第14回 講演報告資料集 (1995.12.10開催)  
 ー日本の近代化に与えた紡織機械技術ー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第14回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1995.12.10、判型：B5判、頁数：62

1.	紡織技術史のとらえかた	内田 星美	1
2.	わが国初期綿糸紡績業における紡績機械の発展	玉川 寛治	7
3.	G型自動織機の自動化機構からみた豊田佐吉の研究と創造ー産業技術記念館における産業遺産の保存ー	本林 孝三・大野 俊彦・河合 光兵	37

1997

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第15回 講演報告資料集 (1997.3.23開催)  
 常滑焼の産業遺産ーれんが煙突とまちづくりー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第15回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1997.3.23、判型：B5判、頁数：80

1.	プロフィール		1
2. [基調講演]	煉瓦煙突の歴史と現状ー常滑焼を中心にしてー	柿田 富造	11
3.	写真家から見た常滑と世界の町並み	三沢 博昭	63
4.	ミナレットのあるイスタンブールの風景ーミナレットの耐震性能と保存ー	青木 孝義	71

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第16回 講演報告資料集 (1997.10.25開催)  
 木曾・上松町の「鬼淵鉄橋」と産業遺産

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第16回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1997.10.25、判型：B5判、頁数：99

1. [講演]	橋梁技術史から見た鬼淵の鉄橋の価値	小西 純一	1
2. [報告1]	小川森林鉄道と上松の産業遺産	山田 貢	19
3. [報告2]	鬼淵鉄橋の保存運動の経緯	尾崎 文雄	41
4.	森林鉄道の思い出ー上松の森林鉄道の機関士たちと鬼淵橋ー		58
	三橋良助と上松町	三橋 幸一	58
	林鉄の機関士 番場茂三郎	田中 綱枝	60
	機関士としてのじいちゃんー佐野客二ー	佐野 綾子	61
	森林鉄道の機関士としての山崎脩治郎	山崎 忠雄	62
	小川・王滝森林鉄道の機関士たち	上田 甚蔵	63
	鬼淵の鉄橋が作られた頃の様子	山本 半治	65
	祖父と鬼淵の鉄橋	原 貴道	67
	私共一家の生活を支えてくれた森林鉄道	石原 ひさ	69
	素晴らしい橋の旅	伊藤 綾子	70
	木曾の森林鉄道を描いた原田泰治の絵本	尾崎 文雄・楯 英雄	71
5.	鬼淵の鉄橋の保存とまちおこしを巡って		73
	ある橋梁研究者の良心に学ぶー寺田博昌さんへの追悼ー	楯 英雄	73
	長野県木曾郡上松町森林鉄道 鬼淵鉄橋の重要性和保存活動について	楯 英雄	82
	木曾の森林と観光ー鬼淵鉄橋の保存とその活用ー	伊藤 国男	89
	木曾の観光資源である森林を守り育てるために	古澤 貞雄	92
	長野・岐阜県境の弥栄橋の架橋の歴史背景から学ぶむら作り	楯 英雄	95

1998

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第17回 講演報告資料集 (1998.9.26開催)  
 地名の産業遺産と地域文化ー大井川流域初期の発電所遺構の歴史的価値と地域文化ー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第17回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1998.9.26、判型：A4判、頁数：83

(1) [基調報告]	地名の産業遺産総合調査の目的と意義	大河内 信夫	1
(2)	旧地名発電所の沿革	大河内 信夫	3
(3) [報告1]	地名発電所の赤れんが建物について	水野 信太郎・野口 英一朗	9
(4)	大倉喜八郎の人物像とその生涯	水野 信太郎	23
(5) [報告2]	旧地名発電所水路系調査	平原 国男・大河内 信夫・天野 武弘・永井 唐九郎	29
(6) [報告3]	地名発電所発電設備の調査報告	石田 正治・市野 清志・大橋 公雄・高橋 伊佐夫・中住 健二郎	37
(7) [報告4]	地名の交通と運輸ー架空索道と舟運および島田軌道ー	堤 一郎	47
(8)	地名の交通と運輸ー大井川鉄道の建設と地名駅ー	白井 昭	62
(9) [報告5]	地名の産業と経済・文化	板谷 幹	66
(10)	地名の水利権発生へのルーツについて	藤田 正義	71
(11)	東海パルプ笹間渡発電所の歴史と遺構	永井 唐九郎	73
(12)	地名の産業遺産総合調査の経過とまとめー故・飯塚一雄氏を称えてー	天野 武弘	80
	飯塚一雄氏と地名調査	天野 武弘	82

2000

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第18回 講演報告資料集 (2000.2.26開催)  
 新幹線の系と名鉄パノラマカーー東海地方を駆け抜けた高速電車・高性能電車ー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第18回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2000.2.26、判型：A4判、頁数：156

[基調講演]	鉄道高速化と私鉄電車発達史	青木 栄一	1
--------	---------------	-------	---

[報告1]	東海道新幹線「0系」の足跡	須田 寛	16
[報告2]	新幹線0系電車の開発と発展	久保 敏	22
[報告3]	新幹線0系電車における車軸軸受システムの技術史	角田 和雄	29
[報告4]	名鉄パノラマカーの開発と設計	白井 昭	37
名鉄 パノラマカー に関する資料 (山田貞編)	資料1 「連結電動客車「モ」7000型、「モ」7050型、「モ」7150型設計認可並びに特別設計許可申請」		54
	資料2 特殊設計(資料2-1)先頭部緩衝装置(「モ」7000型)、(資料2-2)旋回式標識灯装置(「モ」7000型)、(資料2-3)電気式警笛(トランジスターホーン)装置(「モ」7000型)		57
	資料3 「認可許可書」		64
	資料4 「5500型 新造車御案内」		65
	資料5 5500形 クーラーカバー取付テスト(写真)		66
	資料6 「デラックス特急 新造車御案内」		67
	資料7 5500系 外観並びに機器配置・主要項目		68
	資料8 「Phoenix」(7000系パンフレット)		70
	資料9 モ7000形 車両概要		100
	資料10 モ7500形 車両概要・車体・台車		104
	資料11 MCM型制御装置		109
	資料12 7000系の模型(写真)		110
	資料13 7000系(写真)		111
	資料14 7000系の図面		113
	資料15 5500系、7000系、7500系の竣工年月日・基本編成表		136
	資料16 「モ7000型の衝突事故対策とその実際の効果について」『研究報告 No.5』		139
	資料17 踏切事故で破損した7000系(写真)		152
	資料18 パノラマカー余話(柚原誠)		153

## 2001

### シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第19回 講演報告資料集 (2001.2.24開催)

#### 自動車大国を築いた国産車の技術史—中部のクルマづくりの誕生・歴史と将来像—

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第19回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2001.2.24、判型：A4判、頁数：147

[特別講演]	クルマ技術発展の足跡と次世代への伝承	小口 泰平	1
[基調講演]	自動車大国日本のルーツ—中部を中心にして—	鈴木 一義	25
[講演1]	トヨタ車の誕生、その前後—愛知県の自動車事情—	西川 稔	59
[講演2]	1960年代のホンダF1	佐野 彰一	71
	社会情勢を綴った自動車用エンジンの動弁機構形式	杉本 漢三	125
資料	三菱「シルバービジョン」スクーターの歩み	沖 信一	144

## 2002

### 第20回記念シンポジウム「日本の技術史をみる眼」講演報告資料集 (特別企画2001.6.3開催、シンポジウム2002.2.23開催)

#### ものづくり中部の源流とこれから—未来へつながらる技術の蓄積—

#### 付 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第20回特別企画—奥村正二先生と21世紀へのメッセージ—講演

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第20回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2002.2.23、判型：A4判、頁数：133

巻頭	日本の技術史の中における「ものづくり」・産業遺産	坪井 珍彦	1
[基調講演]	日本の技術史・5つの謎	内田 星美	6
[特別講演]	自動車 開発生産の現状と課題—グローバル化に向けて—	白水 宏典	8
[講演1]	日本の陶磁器洋食器の製造と輸出の歴史	鈴木 啓志	26
[講演2]	愛知の飛行機づくり	福原 順一郎	45
[講演3]	中部の工作機械	長江 昭充	86
シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第20回特別企画 講演録—奥村正二先生と21世紀へのメッセージ—			
記念講演	実りある 20年 田沼意次と平賀源内(講演録)	奥村 正二	100
対談	奥村正二先生と技術史研究70年(講演録)	話し手 奥村 正二・聞き手 金子 六郎	106
講演	「日本の技術史をみる眼」三つの観点(講演録)	内田 星美	114
講演	「技術史との出会い・学んだ先輩たち」と「21世紀に向けて3つの事」(講演録)	黒岩 俊郎	118
	シンポジウム「日本の技術史をみる眼」—20回の開催史—	天野 武弘	122

## 2003

### シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第21回 講演報告資料集 (2003.2.22開催)

#### 名古屋を育てた堀川—産業遺産の視点から—

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第21回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2003.2.22、判型：A4判、頁数：86

[基調講演]	江戸・東京を支えた運河	島 正之	1
[講演]	名古屋の近代産業と堀川	近藤 哲生	7
	私と堀川	松田 勝三	19
	堀川総合整備の概要	近藤 和男	31
[報告]	堀川の人造石護岸	早川 恭子・天野 武弘	33
	庄内用水元杵樋と黒川の護岸	大橋 公雄	45
[報告]	堀川の橋—産業遺産としての中橋と岩井橋—	橋本 英樹・近藤 是・土橋 文明・永田 宏	50
[報告]	松重の閘門とポンプ所	野口 英一朗・中住 健二郎・天野 武弘	58



[報告]	堀川沿岸の荷役用機械設備	夏目 勝之・山田 貢	70
	既存の文献に見る堀川研究の現況	水野 信太郎	78

## 2004

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第22回 講演報告資料集 (2004. 2. 21開催) 明治の機械が語るもの

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第22回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2004. 2. 21、判型：A 4判、頁数：104

[講演]	明治の機械と東海地域	鈴木 淳	1
[講演]	博物館明治村 機械館ものがたり	中野 裕子	5
[調査報告]	富岡製糸場で使用された横形単気筒蒸気機関	横形単気筒蒸気機関調査チーム 朝倉 昭二・天野 武弘・島 和雄・ 杉本 漢三・坪井 珍彦・永井 唐九 郎・橋本 英樹	12
	12号蒸気機関車	橋本 英樹・近藤 是・白井 昭	42
	明治村東京駅転車台	橋本 英樹・土橋 文明・夏目 勝 之・白井 昭	53
	明治村を彩る皇居飾電燈	坪井 珍彦	61
[調査報告]	明治村機械館展示の水車発電機に関する調査	高橋 伊佐夫・浅野 伸一・寺沢 安 正・永田 宏	63
	明治村機械館の印刷機械調査報告	大橋 公雄・早川 恭子・井土 清 司・山田 貢・夏目 勝之・野口 英 一朗	73
	博物館明治村の石版手引き印刷機	野口 英一朗	84
	新橋停車場構内発電場の調査－明治村に展示の汐留火力発電所の煙突基礎－	寺沢 安正・浅野 伸一・高橋 伊佐 夫・永田 宏	89
[調査報告]	機械が産業遺産として評価されるとき	天野 武弘・八田 健一郎	94

## 2005

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第23回 講演報告資料集 (2005. 2. 26開催) ～中部のものづくりと文化の流れ～ “からくり” からロボットへ

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第23回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2005. 2. 26、判型：A 4判、頁数：51

[講演]	江戸の技術・からくりとトヨタコレクション	鈴木 一義	1
[講演]	ロボットの進化 今日段階とこれから	末松 良一	15
	組み立て作業用ロボットのトヨタグループでの展開	久野 敏孝	32
	尾張庶民の夢を育んだからくり人形	千田 靖子	45

## 2006

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第24回 講演報告資料集 (2006. 2. 25開催) 自動車産業基盤確立期のモノづくり

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第24回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2006. 2. 25、判型：A 4判、頁数：144

[講演 1]	トヨタ自動車における生産基盤の構築	大西 利美	1
[講演 2]	トヨタ自動車・鑄造工場の基盤確立期とその技術	坂野 武男	26
[講演 3]	トヨタ自動車・基盤確立期の鍛造設備	大西 匡	38
[講演 4]	トヨタ自動車・基盤確立期の車体づくり－溶接を主体として－	武本 道一	69
[講演 5]	トヨタ自動車・基盤確立期の工作機械	島 和雄	84
[報告]	産業技術記念館に展示の粉炭炉と連続ガス浸炭炉の写真に関する調査報告～工業炉メーカーの技術者の視点から～	橋本 英樹	113
	戦後の中部地区での自動車産業と部品産業の発展	杉本 漢三	126
	トヨタ自動車の生産基盤確立期の機械－産業技術記念館展示の機械から－	天野 武弘・島 和雄	134

## 2007

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第25回 講演報告資料集 (2007. 2. 24開催) 中部の飛行機づくり～誕生からのあゆみ～

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第25回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2007. 2. 24、判型：A 4判、頁数：157

[基調講演]	日本の空～過去・現在・未来－国立科学博物館の所蔵資料から－	鈴木 一義	1
[講演 1]	中部の航空機産業の発展と将来	新郷 美可	8
[講演 2]	ヘリコプタの誕生から現在まで	山内 信義	27
[講演 3]	各務原の航空機開発と博物館	横山 晋太郎	68
	三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所・史料室の展示物紹介 よみがえるロケット戦闘機「秋水」	岡野 允俊	83
	M Jに賭ける	岡野 允俊	89
	産業技術記念館の展示物紹介 ハ40/ハ140 (ベンツDB601型) 航空機用エンジン	杉本 漢三	90
	愛知の航空機工業とその産業遺産 (1) 豊田喜一郎の航空機研究とその遺産	天野 武弘	99
	愛知の航空機工業とその産業遺産 (2) 三菱の風洞と住友のプロペラ金型	天野 武弘・中住 健二郎	111
	三菱重工業株式会社の戦前航空機		132
	川崎航空機 (現川崎重工業株式会社) の戦前航空機		134
資料集	愛知航空機 (現愛知機械工業株式会社) の戦前航空機		136

名航史料室探訪…展示史料で見る名航80年の歩み…	137
中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第25回開催史	152

## 2008

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第26回 講演報告資料集 (2008.2.23開催)

#### なごやの港づくりの歴史とこれから～開港100年を迎えた名古屋港の産業遺産とその活用～

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第26回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2008.2.23、判型：A4判、頁数：99

[基調講演]	日本の港湾と近代化	青木 栄一	1
[講演]	名古屋港築港の歴史	粟田 益生	14
[調査報告1]	名古屋港周辺の産業遺産の保存と活用	大橋 公雄	22
[調査報告2]	名古屋港周辺の荷役設備－名古屋駅線路配置図から－	山田 貢	29
	名古屋港周辺の荷役設備－旧港の鉄道施設を中心に－	土橋 文明	36
[調査報告3]	名古屋港の水面貯木場	堀 恭子・天野 武弘	38
[調査報告4]	四号地に建っていた灯台－築地灯台・名古屋港導灯など－	大橋 公雄・野口 英一朗	58
資料集	名古屋港周辺の産業遺産リスト	大橋 公雄	74
	名古屋港の荷役機械・倉庫の写真集	天野 武弘	78
	名古屋港の築港関係年表(1)～(11)	天野 武弘	83
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第26回開催史		94

## 2009

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第27回 講演報告資料集 (2009.2.28開催)

#### 産業遺産の保存と活用のありかた

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第27回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2009.2.28、判型：A4判、頁数：54

[基調講演]	近代化遺産の保存と活用	中山 俊介	1
	「産業遺産の保存と活用のありかた」について	鈴木 一義	15
	博物館明治村の近代化遺産(産業)	飯田 喜四郎	22
	産業技術記念館における産業遺産の保存と活用のありかた	岩崎 充博	26
	産業遺産の動態保存と文化財	天野 武弘	33
資料	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第27回開催史		48

## 2010

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第28回 講演報告資料集 (2010.2.27開催)

#### 名古屋テレビ塔とアナログ放送半世紀

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第28回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2010.2.27、判型：A4判、頁数：149

[基調講演]	名古屋テレビ塔とアナログ放送半世紀～アナログテレビジョン放送における産業遺産について～	大澤 和宏	1
[講演①]	テレビ放送の番組制作と送出のあらまし	中村 敏夫	9
[講演②]	テレビ放送送出業務の手动から自動へーA/P/C自動番組送出装置の概要ー	井上 英雄	18
[講演③]	VHFテレビ送信機～真空管から固体化へ～	澤栗 裕二	25
[講演④]	UHFテレビ送信機～クライストロンから固体化へ～	木村 善次	36
[講演⑤]	テレビ中継放送機の変遷と発展	村瀬 治夫	50
報告	テレビ放送チャンネルプランの変遷	永田 宏	60
	中部日本放送の電波申請から白黒テレビ放送の完成	小野 昭	77
	マイクロ波送信機のトランジスタ化と運用の実際	池下 源一郎	83
	カラー化全固体映像機器の開発と製品化	平岩 昭三	86
	CBCのテレビ送出システムの概要と発展	村松 健彦・北野 祐一	94
	テレビ中継放送局(TVサテライト局)の建設と保守の動向	澤栗 裕二	103
	テレビ番組中継マイクロ波回線	永田 宏	115
	アナログテレビジョン放送局(親局)一覧表(在名・VHF局)	永田 宏	124
アナログテレビジョン放送局(親局)一覧表(在名・UHF局)	永田 宏	125	
アナログテレビジョン放送局(親局)一覧表(岐阜・三重)	永田 宏	126	
資料	テレビのチャンネルで7chは188MHz～194MHz 8chは192MHz～198MHzと2MHz重なっている理由	永田 宏	127
	真空管との出会いとコレクション	村松 健彦	128
	テレビ・ラジオ放送の産業遺産紹介 中部日本放送収蔵のテレビカメラなど	大橋 公雄	131
	高柳健次郎とテレビ発祥の地の遺産－静岡大学高柳記念未来技術創造館と旧浜松高等工業学校跡地－	永田 宏・井土 清司・天野 武弘	135
	東京タワーにおけるテレビ放送開局と送信空中線	永田 宏	140
	関東・名古屋地区の地上デジタル送信空中線の概要	永田 宏	142
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第28回開催史		143

## 2011

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第29回 講演報告資料集 (2011.3.5開催)

#### 私のまわりの産業遺産－記録・保存・活用の事例－

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第29回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2011.3.5、判型：A4判、頁数：170

	開催にあたって	八田 健一郎	
[報告]	半田の産業遺産と観光資源化	赤崎 まき子	1

[報告]	近代化遺産の保存と活用に関する課題～豊田市の事例より～	天野 博之	7
	やきものを活かした“まちづくり”	寺沢 安正	12
	タンペレにおける産業遺産の活用	森田 優己	14
[報告]	文献(知の遺産)復刻と普及・活用	水野 信太郎	16
[報告]	回り舞台機構の変遷を通してその保存・活用を考察する	坪井 珍彦	21
	旧木曾川町会議事堂の保存活用	岩井 章真	28
[報告]	依佐美送信所の建物一失敗事例として一	野口 英一郎・水野 信太郎	30
	産業技術記念館のシャシダイナモメータ	八田 健一郎	33
	旧八百津発電所資料館	浅野 伸一	35
	古川自家水力発電所の調査・保存・展示・活用について	高橋 伊佐夫	38
	旧稲葉地配水塔の保存と活用(現・名古屋市演劇練習館「アクトネン」)	大橋 公雄	42
[報告]	依佐美送信所の長波送信設備の調査と保存	石田 正治	46
	北濃駅転車台の調査・保存・展示・活用について	高橋 伊佐夫	53
	貨物鉄道博物館	大島 一郎	57
[報告]	トラスト運動による愛岐トンネル群の保存	山田 貢	64
	中川運河の現状と活用構想ー産業遺産になりつつある中川運河の現状と活用についてー	柳田 哲雄	68
	南極観測船(砕氷艦)「ふじ」の保存と活用	杉本 漢三	71
	三菱重工株式会社名古屋航空宇宙システム製作所 小牧南工場史料室の20年	岡野 允俊	74
	愛知大学「産業館」の公開	天野 武弘	80
	神屋地下堰堤	永田 宏	85
	人造石工法による土木遺産の調査と見方	天野 武弘	92
	昭和初期の鉄筋コンクリート造の劣化調査例	長谷川 哲也	96
	東海地方最大煉瓦建築の実測・その後 旧カプトビール工場の初調査と現状	水野 信太郎	102
	尾西地方の鋸屋根工場群の調査	岩井 章真・小野 雅信・野口 英一郎	107
	記録したが発表されていない事例	野口 英一郎	110
	鋼材圧延機の見方 産業遺産の記録の観点から	寺西 克己	113
	博物館明治村の機械館に保存の蒸気機関・平削盤・旋盤	島 和雄	122
	賤母発電所初代発電用水車の保存と消滅	田口 憲一	126
	名古屋テレビ塔の送信アンテナを考えるーアナログ放送からデジタル放送への移行に伴ってー	永田 宏	128
	名鉄岡崎市内線の廃線跡	藤井 建	134
	北恵那鉄道木曾川橋梁	田口 憲一	138
	東京駅の東海道新幹線のホームにある十河信二のレリーフ	橋本 英樹	140
	NPO法人名古屋レール・アーカイブスの現状	藤井 建	142
	博物館明治村の鉄道に残る手ブレーキによる制動システム	橋本 英樹	144
	明治村の品川燈台	井土 清司	149
	東海地方の軍事航空遺産	島本 知明	154
	富士木工株式会社 SK式21型 中級滑空機	早川 博康	157
	明治航空基地の非常用発電所遺構の調査手法	中住 健二郎	161
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第29回開催史		164

## 2012

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第30回 講演報告資料集 (2012.2.26開催) 産業遺産研究の歴史と現状を考える

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第30回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2012.2.26、判型：A4判、頁数：71

[基調講演]	産業遺産研究のこれまでと今後への期待	佐々木 享	1
[報告]	シンポジウム「日本の技術史をみる眼」と産業遺産ー開催30年を振り返ってー	天野 武弘	20
	土木における産業遺産研究に関するこれまでの取り組み、現状と課題	馬場 俊介	28
	建築学あるいは建築術と歴史研究ーそして産業考古学へー	水野 信太郎	44
	産業遺産研究の歴史・現状・今後ー歴史学(社会経済史)の視点からー	種田 明	52
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第30回開催史		65

## 2013

### ○ シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第31回 講演報告資料集 (2013.3.24開催) 技術史を学ぶことと今後の技術革新とは

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第31回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2013.3.24、判型：A4判、頁数：88

[講演]	製鉄技術史を次世代に継承するためにー世界遺産登録に関わってー	松尾 宗次	1
	科学博物館における技術革新研究およびその成果の活用についてースミソニアン協会の事例からー	財部 香枝	24
	技術史教育と産業遺産	天野 武弘	40
	「技術史をみる眼」をどのように活かすか	橋本 英樹	49
	技術史について考える	山田 貢	55
	美術史から工学史へーさらに産業技術史研究への道ー	水野 信太郎	63
	技術の伝承に係わる教育について	杉本 漢三	74
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第31回開催史		81

## 2014

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第32回 講演報告資料集 (2014. 3. 23開催)  
技術革新と技術史を学ぶこと

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第32回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2014. 3. 23、判型：A 4判、頁数：27

[講演]	技術革新と適正技術－戦後の鉄鋼技術革新と3・11を経験しての技術のあり方から考える－	黒田 光太郎	1
[講演]	20世紀の日本の化学技術－21世紀を展望する－陶磁器およびアンモニア合成を例に－	亀山 哲也	13
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第32回開催史		20

2015

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回 講演報告資料集 (2015. 2. 22開催)  
博物館における動態保存のあり方

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2015. 2. 22、判型：A 4判、頁数：56

[講演]	近代文化遺産の保存と動態保存に関して	中山 俊介	1
[講演]	動かし続けることにこだわる博物館－トヨタ産業技術記念館の意義と課題－	成田 年秀	4
[講演]	歴史ある工作機械をいかに甦らせるか	三好 稔幸	22
[講演]	ドイツ・ラインラント産業博物館 ミュラー生地工場の機械	マイヤー オリバー	31
	機械の動態保存ガイドラインの提案	天野 武弘	36
	博物館明治村での12号蒸気機関車の動態保存	橋本 英樹・白井 昭	40
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第33回開催史		48

2016

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 講演報告資料集 (2016. 2. 21開催)  
稼働遺産とその活用－新たな展開を求めて－

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2016. 2. 21、判型：A 4判、頁数：42

[基調講演]	産業遺産の評価と保存－「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録の経験から－	清水 憲一	1
[講演]	現役の鉄道可動橋 末広橋梁	葛山 拓也	10
[講演]	未だ稼働し続けるシャトル織機	成田 年秀	16
	大井川鐵道での鉄道保存を顧みて	白井 昭	28
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第34回開催史		32

2017

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第35回 講演報告資料集 (2017. 2. 26開催)  
ものづくりとデザイナー－産業の近代化とデザインの歩み－

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第35回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2017. 2. 26、判型：A 4判、頁数：32

[基調講演]	デザイン視点でのモノづくりと社会的価値の変遷	布垣 直昭	1
[講演]	マザーマシンにみるデザインの変遷	梅本 良作	11
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第35回開催史		23

2018

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回 講演報告資料集 (2018. 3. 3開催)  
名古屋テレビ塔の新たな旅立ち－ランドマークとしてのこれまでとこれから－

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2018. 3. 3、判型：A 4判、頁数：44

[講演]	名古屋テレビ塔のあゆみ－内藤多伸博士の足跡と再発見資料研究の中間報告－	夏目 欣昇・大嶽 伸	1
[講演]	名古屋テレビ塔の価値を見つける～最新のデジタル技術活用～	西澤 崇雄・若林 亮	11
	名古屋テレビ塔の新たな旅立ち～ランドマークとしてのこれまでとこれから～	大澤 和宏	17
	名古屋テレビ塔の資料調査に関するデータ入力フォーマット作成	柘植 芳之	23
	テレビ塔設計者・内藤多伸をとりまく建築家群像	水野 信太郎	26
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第36回開催史		35

2019

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回 講演報告資料集 (2019. 2. 23開催)  
日本の自動車120年と刈谷から歩んだ豊田喜一郎のクルマづくり

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2019. 2. 23、判型：A 4判、頁数：62

[基調講演]	日本の自動車120年 その歩みと豊田喜一郎	鈴木 一義	1
[講演]	自動車事業へのチャレンジ～栄生から刈谷、そして挙母へ～	飯島 修	15
	年表：中京地区の自動車産業発展過程－1917年～1937年・豊田自動織機製作所を中心として－	杉山 清一郎	21
	中部産業遺産研究会 第13回パネル展と講演会「中部における国産車のあゆみ」から		38
参考資料	愛知製鋼株式会社刈谷工場 旧試作工場 東棟・西棟 登録有形文化財（建造物）の登録関連の資料		49
	トヨタ創業期試作工場～クルマづくり出発の地～見学案内リーフレット		51
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第37回開催史		53

2020

● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回 講演報告資料集 (2020. 7. 19開催)  
服部長七と人造石工法－産業近代化の基礎づくりを担った土木技術－



# 中部産遺研他「日本の技術史を見る眼」関係 総目次 2025.3.28現在

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2020.7.19、判型：A4判、頁数：56

[講演]	土木史分野から見た人造石研究への期待	北河 大次郎	1
[講演]	服部長七没後100年にあたり歴史的土木工法（人造石工法）に再び光を	天野 武弘	5
	人造石の固化メカニズムについて	前浪 洋輝	29
	「没後100年 服部長七と近代産業遺産」展の開催と前浜新田干拓堤防護岸の発見	豆田 誠路	33
	先祖服部長七と人造石	服部 憲明	37
	「人造石づくり実演・体験会」作業手順書	大橋 公雄	43
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第38回開催史		47

## 2022

### ● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 講演報告資料集 (2022.6.26開催) 活かそう身近な産業遺産～先人の挑戦をひもとき未来に活かす～

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2022.6.26、判型：A4判、頁数：46

[基調講演]	「トヨタ産業技術記念館における産業遺産の保存と活用」～学芸員として調査・研究、展示・公開に取り組んだ10余年～	成田 年秀	1
[講演]	公的機関（公的文書資料館・法務省管轄機関）等が保管する記録を使った産業遺産調査法	杉山 清一郎	15
	豊田市近代の産業とくらし発見館の活動と市域における産業遺産の活用例	小西 恭子	32
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第39回開催史		36

## 2023

### ● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第40回 講演報告資料集 (2023.2.19開催) 技術史のおもしろさ再発見

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第40回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2023.2.19、判型：A4判、頁数：52

[基調講演]	博物館での技術史研究のおもしろさ	鈴木 一義	1
	豊田式鉄製自動織機（T式自動織機）を通してみる自動織機の技術史～先人達の挑戦の痕跡をみる眼～	牧野 功	9
	技術史のおもしろさ再発見～たたら製鉄、人造石、ガラ紡機の体験から～	天野 武弘	13
	人物に注目することのおもしろさ～技術者を目指す次世代へのメッセージ～	橋本 英樹	17
	ものづくりの“そもそも”を知るおもしろさを伝えたい！～産業遺産が教えてくれる、ものづくりのDNA～	赤崎 真紀子	21
	埋もれた産業遺産を発掘するおもしろさ	杉山 清一郎	27
	〈紙資料アプローチ〉による産業遺産の楽しみ方	朝井 佐智子	31
	みなさんも「おつうさん」は知っているのに～織り道具の“箆”に関わって～	野村 千春	35
	自動車産業遺産から知る技術史のおもしろさ～先人の想いと史実を知り自らへの支えとして～	八田 健一郎	39
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第40回開催史		43

## 2024

### ● シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第41回 講演報告資料集 (2024.10.19開催) 愛知独自の“発酵食文化”を支えるものづくり～微生物がよい仕事をしています！「発酵食」の歴史と明日を探究する～

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第41回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2024.10.19、判型：A4判、頁数：53

[講演]	“発酵”をテーマとした産業遺産の研究－中部産業遺産研究会の調査事例をもとに課題と展望－	天野 武弘	1
[基調講演]	日本食を支えてきた愛知の発酵文化の卓越性と多様性	加藤 雅士	14
	～愛知の発酵食文化の担い手達が語る！～発酵ものづくりの伝統と革新	伊東 優	24
	創業380年 カクキューの「八丁味噌」	野村 健治	30
	白醤油の歴史と未来	蜷川 泰輔	33
	愛知の醸造文化と三河みりん	角谷 文子	36
	愛知の「発酵食文化」について&「発酵食文化」をインバウンドに活用する	赤崎 真紀子	39
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第41回開催史		44